

○令和7年8月1日 環境建設委員会の第2回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

環境建設委員会では、今年度のテーマを「かがわの里海づくりについて」「道路・都市計画行政について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、鎌野漁港地先（高松市庵治町）において、香川大学創造工学部の藻場再生事業の現場を視察し、藻場造成構造物の見学や沈設場所の見学を行った後、人と自然が共生する持続可能な豊かな海づくりのための研究開発内容や様々なプレイヤーを巻き込んだ組織づくりについて説明を受け、質疑を行いました。



次に、県道太田上町志度線（六条工区）（高松市六条町）の工事現場を訪問し、高松市中部地域の東西アクセスの向上や交通安全の確保を目指す道路整備事業の進捗について説明を受け、質疑を行った後、現場の視察を行いました。



最後に、県道円座香南線（香南工区）（高松市香南町）の工事現場を訪問し、高松空港と高松自動車道の高松西インターチェンジを結ぶ高規格道路の事業進捗について説明を受け、質疑を行った後、現場の視察を行いました。

